

聖殖者

花房歩夢

奈落の底にも穴があった

ただ、

新緑の少年らは留まることを知らない

どこまでも行け、どこまでも行け

きっとこれからも、みんなの言う二人組になり続けなきゃいけないくて、できた二人組はまた二人組を生み出さなきゃいけないくて、一体いつまで続くんだろう、そんな不揃いな未来を幸せって呼ぶから、幸せになれないのがバレないように、昨日ばかり生きることになった、本当は殖えたいんじゃないかって出会ったたったただけなのに、この両手で撫でられるくらいの距離に未来があればよかった

破水、

溜息とぬいぐるみだけの待合室

天国の入口の音楽と、葬式会場の出口の音楽は似てるらしい

脳漿よ羊水に変われ、性欲が生殖の為にあるなら挿入行為を伴わない性行為を法律で禁止しよう、脳漿よ羊水に変われ、性欲が生殖の為にあるなら避妊具の販売を法律で禁止しよう、脳漿よ羊水に変われ、性欲が生殖の為にあるなら自慰行為を法律で禁止しよう、脳漿よ羊水に変われ、結婚が生殖の為にあるなら生殖しない男女の婚姻を法律で遡及的無効にしよう、それだけじゃなかったのにそれだけにされて、全部無意味で無駄でこんなにも